

令和5年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	「子どもアートDay」実行委員会
事業名	子どもアートDay 2023
事業費(うち支援額)	500,000円



■事業目的

- 地域で活動する多くのアーティストやパフォーマー、学生、子どもと子育てを支援する市民活動団体等と、たくさんの親子が出会う場を創出する。
- 地域の「子どもと文化」に関わる団体や個人が集まり、周囲の支援を集めながら共に企画運営することにより、子どもの育ちと子育て家庭を地域を挙げて応援していく気運を醸成する。
- 多様な連携でこのイベントを開催することにより、「子どもと文化」を考え将来にわたって協力し合えるネットワークを構築する。

■事業内容

文化的な生活や多様な芸術との出会い、体験・創造・享受への参加機会に格差のない社会の実現をめざし、島根県民会館全館をつかって【子どもアートDay】を開催します。

子どもアートDayとは、地元で活躍するアーティストやパフォーマー、子ども・子育て支援団体、大学や文化施設などが結集し、「あそぶ・みる・きく・つくる」など子どものためのたくさんのアートプログラムを展開する子ども応援イベントです。アートの持つ、人と人をつなぎ、癒やし、元気づけ、笑顔にする力を借りて、子どもや子育て家庭を地域とつなぎます。また、実行委員会に参加する団体同士が準備期間を通してコミュニケーションを深め、このイベント開催のためだけでなく、日頃から地域の子育て環境向上のために連携できる関係を構築します。

■事業成果と今後の展望

2019年春、多様な主体(文化ホール・大学・文化芸術の実践者・子ども子育て支援団体など)の連携による「誰ひとり取り残さない社会の実現」を目指し、子どもたちの体験格差の解消に挑もうとの思いで企画がスタートしました。コロナ禍がもたらした子どもたちの心身への影響と、さらなる経済格差の拡大が懸念される中、度重なるコロナ禍での延期を乗り越え2022年に第1回目「子どもアートDay」を開催しました。

2回目となる今回は30団体が35種類のプログラムを実施し、約1,900名の親子連れが来場しました。また、松江市が実施するファミリーイベントとの連携を提案し、「こどもまんなか松江」の日としての開催が実現しました。参加団体同士の交流も深まり、新たなコラボレーションも生まれています。事業を継続することで、「子ども×文化×地域」を支えるネットワークをさらに広げ、子どもたちの健やかで心豊かな育ちを応援するそれぞれの活動を結んで、今後もっと大きな力にしていきたいと考えています。